



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社オカムラ

コード番号 7994 URL <http://www.okamura.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 雅行

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 潔 (TEL) 045-319-3445

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	59,324	8.1	2,438	18.5	3,102	19.0	2,104	17.4
2018年3月期第1四半期	54,885	△1.6	2,058	△27.6	2,606	△19.9	1,793	△23.2

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 2,718百万円(△22.0%) 2018年3月期第1四半期 3,485百万円(661.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	19.11	—
2018年3月期第1四半期	16.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	230,203	126,757	54.9
2018年3月期	233,110	125,585	53.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 126,396百万円 2018年3月期 125,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	119,000	5.0	5,100	8.5	5,400	1.2	3,700	33.59
通期	252,000	4.2	13,800	5.0	14,500	3.6	10,000	△7.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	112,391,530株	2018年3月期	112,391,530株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	2,239,717株	2018年3月期	2,238,845株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	110,152,258株	2018年3月期1Q	110,157,344株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(追加情報)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、企業収益や雇用環境は引き続き改善傾向にあり、景気は緩やかな拡大基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、特徴ある製品づくりやトータルソリューション提案による新しい市場創出、各事業分野でのシェア拡大と新規顧客開拓に努めるとともに、生産性向上やコストダウンを推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高59,324百万円（前年同四半期比8.1%増）、営業利益2,438百万円（前年同四半期比18.5%増）、経常利益3,102百万円（前年同四半期比19.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,104百万円（前年同四半期比17.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(百万円)			セグメント利益又は損失(△)(百万円)		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
オフィス環境事業	27,756	30,428	2,671	1,158	1,694	535
商環境事業	23,747	23,774	27	920	336	△583
その他	3,381	5,120	1,739	△20	407	428
合計	54,885	59,324	4,438	2,058	2,438	380

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## オフィス環境事業

オフィス環境事業につきましては、大規模オフィスビルの安定的な供給にともなう大型移転案件が増加するとともに、業績が好調な企業を中心としたオフィスの移転需要及びリニューアル需要も堅調に推移いたしました。このような状況のもと、オフィスでの働き方改革や健康への関心の高まりに対する新しいオフィス環境づくりを積極的に提案してまいりました。また、病院、公共施設等のオフィス周辺市場への積極的な営業活動にも努めたことにより、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、30,428百万円（前年同四半期比9.6%増）、セグメント利益は、1,694百万円（前年同四半期比46.2%増）となりました。

## 商環境事業

商環境事業につきましては、ドラッグストアなど業績が好調な小売業界を中心に、店舗什器、カート機器、セキュリティ製品など総合力を活かしたトータル提案を強化し、冷凍冷蔵ショーケースのシェアアップやコスト低減に努めましたが、資材価格や工事費の上昇もあり、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高は横ばい、利益は減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、23,774百万円（前年同四半期比0.1%増）、セグメント利益は、336百万円（前年同四半期比63.4%減）となりました。

## その他（物流機器事業他）

物流機器事業につきましては、増加するネット通販を扱う物流倉庫を中心に、人手不足に対応した省人化の要望に対し、提案力と優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な営業活動に努めたことにより、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益ともに大幅に増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、5,120百万円（前年同四半期比51.5%増）、セグメント利益は、407百万円（前年同四半期は20百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、次のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末から2,907百万円減少して230,203百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加、売上債権の減少を主な要因として2,895百万円減少し、固定資産は、投資有価証券の増加、有形固定資産の減少を主な要因として12百万円減少いたしました。

負債は、短期借入金の増加、仕入債務、未払法人税等及び賞与引当金の減少を主な要因として、前連結会計年度末から4,079百万円減少し、103,446百万円となりました。

純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加を主な要因として、前連結会計年度末から1,171百万円増加し、126,757百万円となり、自己資本比率は1.2ポイント上昇して54.9%となりました。

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益3,112百万円、減価償却費1,361百万円及び売上債権の減少額10,759百万円等による増加と、賞与引当金の減少額3,046百万円、仕入債務の減少額4,554百万円及び法人税等の支払額2,323百万円等による減少の結果、6,373百万円の資金増加（前年同四半期は6,842百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得945百万円及び無形固定資産の取得258百万円等による減少の結果、1,298百万円の支出（前年同四半期は2,499百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額3,394百万円等による増加と、配当金の支払額1,357百万円等による減少の結果、1,760百万円の資金増加（前年同四半期は2,549百万円の増加）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から6,755百万円増加（前年同四半期は6,901百万円の増加）し、32,877百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月9日に公表いたしました業績予想数値を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,452	34,300
受取手形及び売掛金	68,015	57,255
有価証券	-	500
商品及び製品	11,579	12,141
仕掛品	1,658	1,783
原材料及び貯蔵品	4,464	4,631
その他	2,579	2,230
貸倒引当金	△78	△67
流動資産合計	115,671	112,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,666	14,492
土地	27,892	27,892
その他(純額)	13,784	13,590
有形固定資産合計	56,343	55,975
無形固定資産		
のれん	5	2
その他	4,039	3,960
無形固定資産合計	4,045	3,963
投資その他の資産		
投資有価証券	49,414	49,905
その他	7,670	7,617
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	57,049	57,488
固定資産合計	117,438	117,426
資産合計	233,110	230,203

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,764	22,478
電子記録債務	20,283	21,822
短期借入金	6,190	9,567
1年内返済予定の長期借入金	1,503	1,492
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	3,010	165
賞与引当金	3,850	804
その他	6,256	8,244
流動負債合計	74,858	69,575
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	5,307	5,140
退職給付に係る負債	15,502	15,753
その他	6,856	7,976
固定負債合計	32,666	33,870
負債合計	107,525	103,446
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,766	16,766
利益剰余金	78,991	79,551
自己株式	△2,429	△2,430
株主資本合計	111,999	112,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,103	14,730
為替換算調整勘定	236	144
退職給付に係る調整累計額	△1,116	△1,036
その他の包括利益累計額合計	13,223	13,838
非支配株主持分	362	361
純資産合計	125,585	126,757
負債純資産合計	233,110	230,203

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	54,885	59,324
売上原価	37,676	40,788
売上総利益	17,209	18,535
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,392	2,495
給料及び手当	5,186	5,478
賞与引当金繰入額	453	476
賃借料	2,058	2,186
その他	5,058	5,459
販売費及び一般管理費合計	15,150	16,096
営業利益	2,058	2,438
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	310	457
持分法による投資利益	214	92
その他	210	245
営業外収益合計	738	801
営業外費用		
支払利息	50	43
社債発行費	39	-
為替差損	57	39
その他	44	56
営業外費用合計	191	138
経常利益	2,606	3,102
特別利益		
投資有価証券売却益	-	16
特別利益合計	-	16
特別損失		
減損損失	-	5
ゴルフ会員権評価損	1	1
特別損失合計	1	6
税金等調整前四半期純利益	2,604	3,112
法人税、住民税及び事業税	59	90
法人税等調整額	748	912
法人税等合計	808	1,003
四半期純利益	1,796	2,109
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,793	2,104



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	1,796	2,109
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,726	628
為替換算調整勘定	△14	△82
退職給付に係る調整額	△17	80
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△16
その他の包括利益合計	1,689	609
四半期包括利益	3,485	2,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,491	2,719
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,604	3,112
減価償却費	1,344	1,361
減損損失	-	5
持分法による投資損益(△は益)	△214	△92
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21	△10
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,894	△3,046
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	165	366
受取利息及び受取配当金	△314	△464
支払利息	50	43
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△16
売上債権の増減額(△は増加)	13,997	10,759
たな卸資産の増減額(△は増加)	△600	△853
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,320	△4,554
未払消費税等の増減額(△は減少)	257	98
その他	472	1,560
小計	9,528	8,268
利息及び配当金の受取額	318	471
利息の支払額	△60	△42
法人税等の支払額	△2,944	△2,323
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,842	6,373
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△510	△589
定期預金の払戻による収入	303	491
有形固定資産の取得による支出	△978	△945
無形固定資産の取得による支出	△227	△258
投資有価証券の取得による支出	△1,023	△32
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	0
その他	△63	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,499	△1,298
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,202	3,394
長期借入金の返済による支出	△176	△177
社債の発行による収入	5,000	-
社債の償還による支出	△5,000	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,152	△1,357
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△184	-
その他	△139	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,549	1,760
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	△79
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,901	6,755
現金及び現金同等物の期首残高	25,461	26,122
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,363	32,877

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,756	23,747	51,504	3,381	54,885	—	54,885
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	27,756	23,747	51,504	3,381	54,885	—	54,885
セグメント利益 又は損失(△)	1,158	920	2,078	△20	2,058	—	2,058

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流機器事業及び流体変速機事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	30,428	23,774	54,203	5,120	59,324	—	59,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	30,428	23,774	54,203	5,120	59,324	—	59,324
セグメント利益	1,694	336	2,031	407	2,438	—	2,438

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流機器事業及び流体変速機事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス環境事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては5百万円であります。